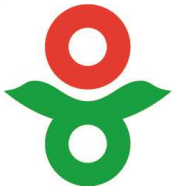


令和元年度 第7回地域フォーラム

葛城市発展ビジョン

令和元年10月14日（月・祝）

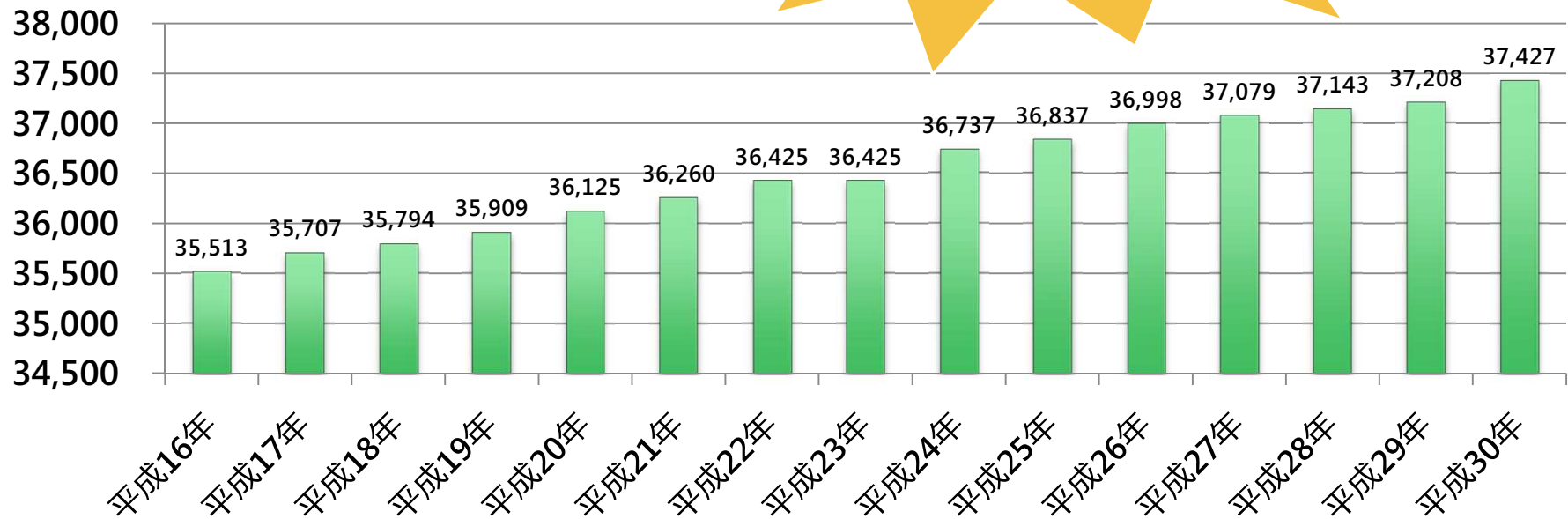
葛城市長 阿古 和彦



葛城市の人口

人口の推移

15年で約1900人増加



葛城市の立地



二上山から葛城山西部の山並みと、東に広がる平野部（奈良盆地）で構成されている。

面積：33.72km²

電車でのアクセス（近鉄とJR合わせて7つの駅）

- 大阪阿倍野橋駅から尺土駅
特急または急行で約30分

大阪大都市圏に近く、
自然や公園がたくさんあり
住みよい環境が残る葛城市

車でのアクセス

- 関西国際空港より阪和道・南阪奈道路経由 約50分
- 大阪市内より 約40分

葛城市の住みやすさ

「住みよさランキング2019」全国第34位（近畿地区第3位）

- ・ 医療費助成が18歳まで対象（**全国1位**👑）
- ・ 老年人口当たりの介護施設定員数（**全国13位**👑）
- ・ 転出入人口比率（**全国44位**👑）
- ・ 水道料金（**全国85位**👑）
- ・ 20～30代女性人口当たり0～4歳児数（**全国93位**👑）

出典：東洋経済新報社「都市データパック2019年版」

全国812市区対象

葛城市のポテンシャル

居住可能面積

市街化区域：約4.8km²

都市計画法34条11号区域指定地区：約3.1km²

立地

都市部からのアクセスが良い
(大阪からのアクセス30分)

定住

住民の8割が
住み続けたいまち

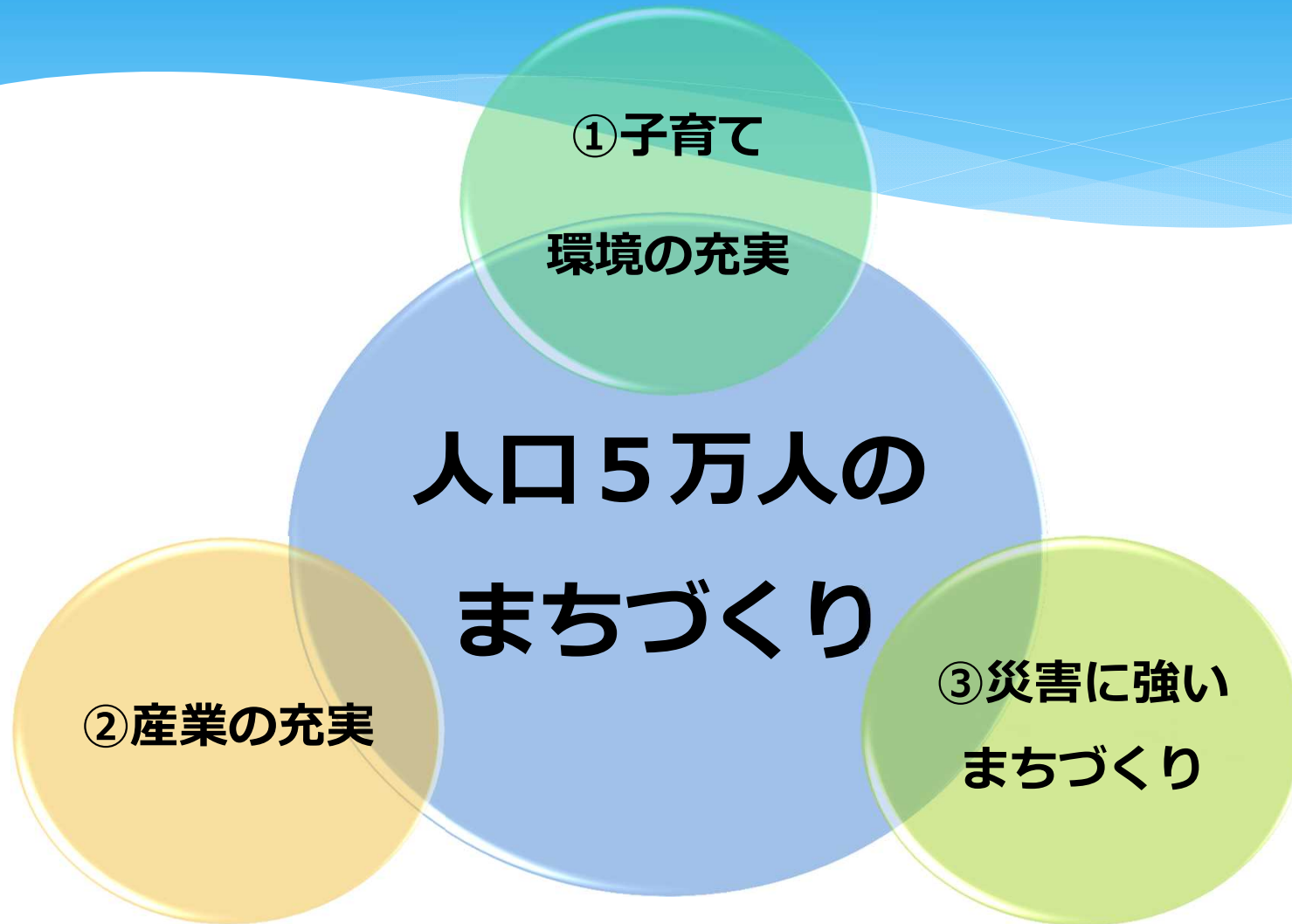
地域経済循環率

87.5% (県内2位)

新生児出生数

2年連続300人超え

これからの展開のための主たるテーマ



1. 子育て・教育の環境整備

基本データ

- ・ 合計特殊出生率 1.45（県内**3**位）〈H20～24平均値〉
- ・ 15歳未満年少人口割合 15.2%（県内**2**位） 〈H30年10月〉
- ・ 25～44歳子育て世代割合 22.9%（県内**3**位） 〈H30年10月〉

課題

- ・ 子どもの人口は、近年、微増傾向にあり、共働き世帯の増加に伴う多様化する保育ニーズへの対応が必要である。
- ・ 核家族化が進む中、子育てに対する不安感や孤立感、家庭や地域の養育力の低下を防ぐため、子どもを守る地域ネットワーク機能を強化することが必要である。



1. 子育て・教育の環境整備

具体的な取り組み

① 幼稚園、小・中学校への空調設備設置

- ・ 幼稚園、小・中学校のエアコン設置率100%
- ・ 小・中学校の体育館にもスポットクーラーの設置を予定。

② こども・若者サポートセンターの改組

- ・ 妊娠から子育て、就労までの悩みを1つの窓口で対応。
(常設では県内唯一)
- ・ 保健師・保育士・教員・臨床心理士・社会福祉士などの専門職が対応。

③ 医療費の助成

- ・ 出生の日から満18歳に達する日以後、最初に到達する3月31日までの子どもを対象に医療費助成を実施。

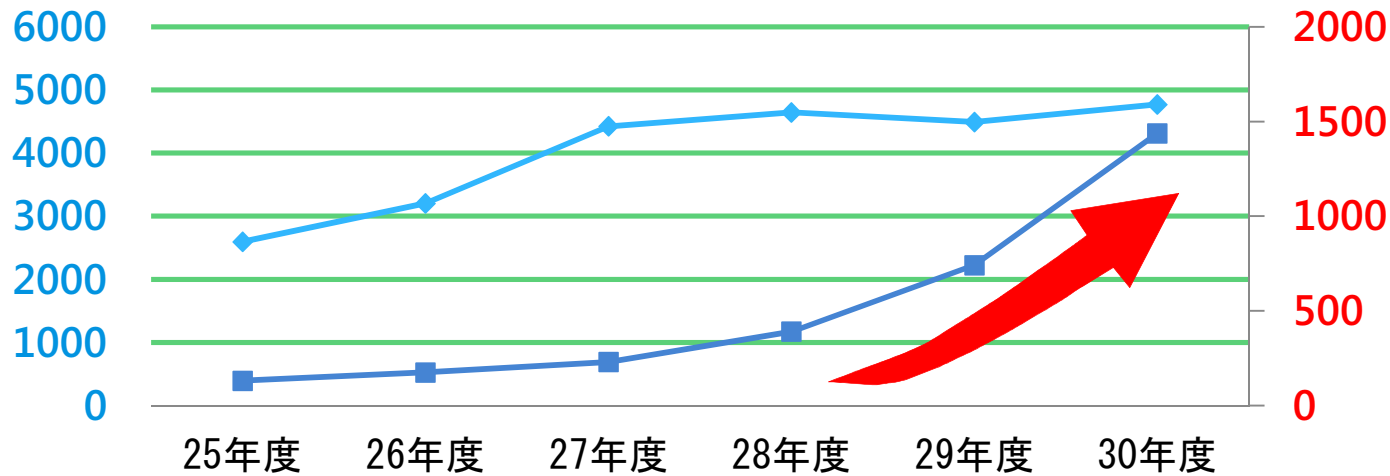


2. 観光産業・地域の活性化

相撲館入館者数
外国人入館者数

相撲館入館者

外国人入館者



◆ 相撲館入館者

■ 外国人入館者

2. 観光産業・地域の活性化

具体的な取り組み

① 観光周遊ルートの開発

- ・平成30年度に現地調査した市内観光地周遊ルートの基礎資料を基に、ストーリーと持続性を持ったモデルコースについて分析し、来訪者・旅行代理店等に対するニーズ調査を実施、更に滞在型観光につなげるための広域周遊ルートについての基礎資料となる葛城市内観光地周遊ルートを製作する（令和元年度）

② 相撲館土俵を生かしたイベントの実施

- ・伝統芸能「相撲甚句」の公開練習
- ・力士による相撲の実演
- ・ワンパク相撲大会
- ・女性をターゲットにした催しの開催 等



2. 観光産業・地域の活性化

具体的な取り組み

③訪日外国人旅行者受入環境の整備

- ・葛城市Wi-Fi整備事業

市民、観光客が多く見込まれるエリアに対し、無線LANの多面的な整備を行うとともに大規模災害時等、電話回線が不通した際に、避難者がインターネット回線を通じて非難情報を受け取ることができる環境を整備

- ・奈良県外国人観光客受入環境整備推進事業補助金を活用し、公衆トイレの洋式化、案内看板の設置を予定（令和元年度事業）



2. 観光産業・地域の活性化

具体的な取り組み

④ 県との連携・協働によるインバウンド観光戦略の策定に向けた動き

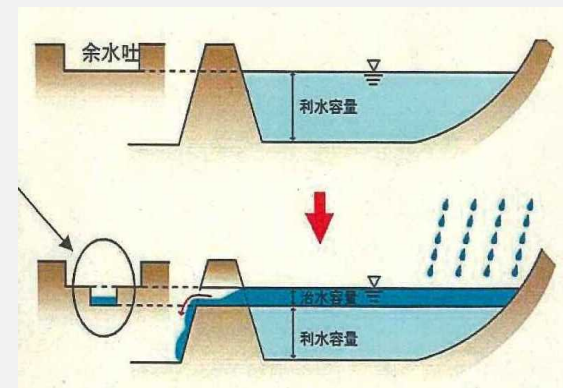
- ・ 滞在型観光の実現「泊まる奈良」（ホテル誘致）
- ・ 観光資源の活用「活かす奈良」（自然・歴史・文化財資源の活用）
- ・ 対外プロモーションの強化（ツアー商品の造成）
- ・ 国際交流の推進（友好提携）

3. 災害に強いまちづくり

具体的な取り組み

① ため池を利用した治水

- ・ 集中豪雨等の異常気象による浸水被害の防止のため、ため池を利用して治水容量を創出。
- ・ 余水吐を切下げることによって水位を低下させ、その下げた水位分が治水容量となる。
- ・ この工法は安価なことから、今後も効果的なものを抽出し順次実施予定。



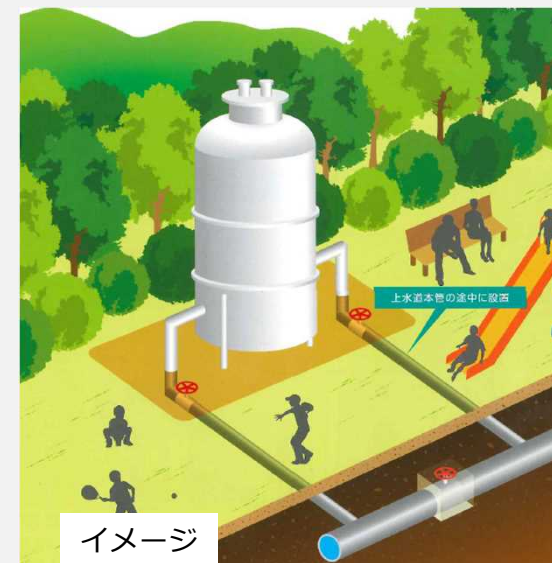
イメージ

3. 災害に強いまちづくり

具体的な取り組み

②災害時における広域避難所に飲料水兼用耐震性貯水槽の設置

- ・ 非常時にも清潔で安全な水を確実に供給できる電源不要の貯水槽
- ・ 約4,000人の飲料水を確保。 ($3 \ell / 1人 \times 3日 \times 4,000人 = 40m^3$)



3. 災害に強いまちづくり

具体的な取り組み

③防災行政無線（戸別受信機を全戸に設置）

- ・戸別受信機全世帯対象に配布は県内12市で唯一
- ・災害時にJ-アラート情報や避難所情報等を戸別受信機を通じていち早くご家庭に伝達、併せて屋外拡声子局・文字表示機能付戸別受信機・メール・ツイッターからも情報伝達



ご清聴ありがとうございました。

